

# 子育ての 素晴らしいさを伝える

## 「みんなの声」

赤穂市PTA連合会では、母親部会が中心となって「子育て体験」と「子どものつぶやき」をまとめた冊子「みんなの声」を発行しています。子育ては親子の成長の感動ドラマです。思わずほっこりしてしまうその一部を紹介いたします。



子育ての宝物を手にとってみませんか。みんなの声は、1部300円で販売しています。ぜひご一読ください。  
 ◎PTA連合会事務局(生涯学習課) ☎43・6858

### 子育て体験と子どものつぶやき

#### 子育て体験

初めての子育てって、何もわからなく、行き詰まることもあるけれど、何もわからなからこそワクワク楽しみができるのかもしれないです。こんな素敵な経験をさせてくれた娘にありがとう。そして、大好きだよ。すべてが私の宝物!! (赤穂幼稚園 T)

不意に、トコトコと私の前に立ち止り顔を見上げ「ニコッ」と笑う長男。それに続けとばかりにドッドッとかけ寄

#### 原小学校 O

親が思うより、子どもは意外にしっかりとしていきます。いろいろな経験をjして、確実に成長していく。我が家では、スポーツを通して子どもの成長を実感していきました。成長した分だけ、たくさん学んだんだと思います。家の中だけでは、きつと身に付かなかった事がたくさんあります。私も同じようにたくさん学びました。「見守る」ということがどんなに難しい事か、どんなに大切なことか。

#### 子どものつぶやき

子どもたちはこれからも、たくさんの方と出会い、いろいろなことを学んでしよう。私もこれから、子どもたちの一番そばで、きちんと見守りたいと思います。(赤穂西中学校 T)

#### 塩屋幼稚園 S

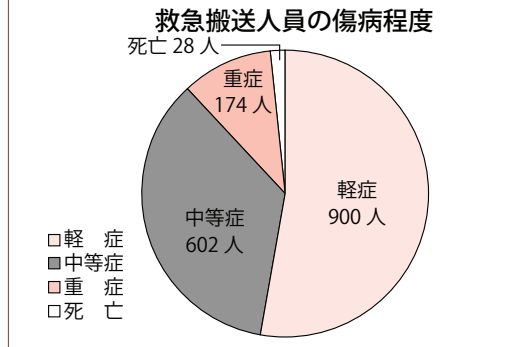
「ママは嬉しくて抱きしめました。甘えん坊の息子。いつまで素直に甘えてくれるのかな?その気持ちや言葉をずっと大切にすね。ありがとう。」

「お母さん。」  
 走って来てぎゅっと抱きつく。しばらく動かない。  
 母「どうしたん?」  
 子「疲れたから、じゅうでん。」  
 いつまで抱きついてくれるかわかりませんが、子どもにパワーを与えられる母であり続けたいなあと思います。(御崎小学校 N)

# 大切な命を救うために 救急車を上手に使いましょう

## 赤穂市の救急状況

平成26年中に赤穂市で救急搬送された人は1,704人で、傷病程度別にみると、死亡28人(2%)、重症174人(10%)、中等症602人(35%)、軽症900人(53%)でした。軽症が5割以上を占めています。これは全国的な傾向(軽症者49・9%・平成25年消防白書)であり、総務省消防庁では、救急車や救



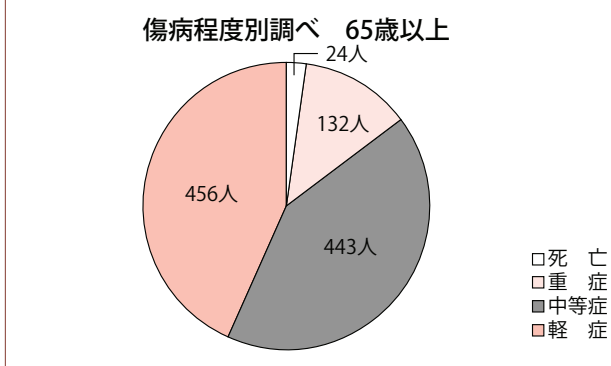
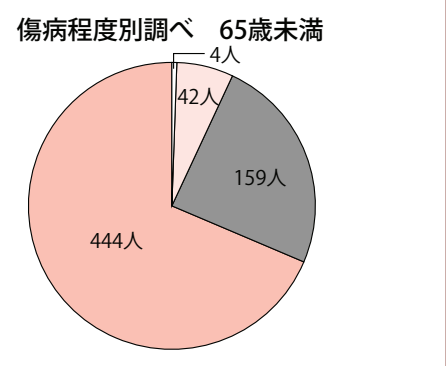
急医療を「限りある資源」と位置付けて、救急車利用マニュアルに続き、「救急受診ガイド2014年版」を作成し、適正な救急利用を呼び掛けます。

赤穂消防署 救急課 ☎43・6884

#### 高齢者の救急要請が増加しています!

市では65歳以上の救急搬送者が全体の62%を占めています。市の高齢化率は27・7%(平成26年1月末現在)です。高齢者ほどケガや病気で救急車を要請する割合が高いということがわかります。

また、傷病程度別調べを詳細にみると、65歳未満の傷病程度が死亡4人(0・6%)、重症42人(6・5%)、中等症159人(24・5%)、軽症444人(68・4%)であるのに対し、65歳以上では死亡24人(2・3%)、重症132人(12・5%)、中等症443人(42・0%)、軽症456人(43・2%)となっており、高齢者ほど重症化する傾向がみられます。



### 赤穂救急ワークステーション 試行運用中です!

赤穂市消防本部では赤穂市民病院の協力を得て、救急ワークステーションでの救急隊員研修に取り組んでいます。この研修により病院での臨床研修の機会が増え、隊員の医学的知識や救急処置技術が格段に向上しています。これからも市民の皆さまの救命率向上と後遺症の軽減を目指し、研修に取り組めます。

救急現場では、より早く傷病者のかかりつけ病院や病歴情報を収集し、適切な医療機関に搬送することが求められますが、緊急性の高い高齢者ほど情報収集に時間を要し、現場滞在時間が長くなることに懸念されます。皆さまには、日頃から地域コミュニティの中で情報交換に努めていただき、緊急時には地域全体で支援いただきますようお願いいたします。